

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【公開番号】特開2009-128504(P2009-128504A)

【公開日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2007-301783(P2007-301783)

【国際特許分類】

G 09 G 3/36 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

G 02 F 1/133 (2006.01)

【F I】

G 09 G	3/36	
G 09 G	3/20	6 2 1 F
G 09 G	3/20	6 4 1 C
G 09 G	3/20	6 4 1 P
G 09 G	3/20	6 5 0 M
G 09 G	3/20	6 4 1 E
G 09 G	3/20	6 2 1 B
G 09 G	3/20	6 6 0 V
G 09 G	3/20	6 7 0 K
G 09 G	3/20	6 1 1 E
G 09 G	3/20	6 8 0 C
G 02 F	1/133	5 7 0
G 02 F	1/133	5 2 5

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月9日(2010.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像信号の1フレーム毎にオーバードライブ補正量を算出し、前記オーバードライブ補正量に基づき1フレーム毎にオーバードライブ補正を行ないながら液晶表示素子を駆動する液晶表示装置において、

前記映像信号の1フレームをmフィールド(mは2以上の偶数)に分割し、前記1フレームあたり、前記1フレーム内の最初に設けられた、前記映像信号と前記オーバードライブ補正量に基づく前記オーバードライブ補正を行なう第1フィールドと、前記第1フィールドの後に設けられた、前記映像信号に基づく第2フィールドとを有するmフィールドの信号を生成する手段と、

前記1フレーム内で前記mフィールドのうち前記第1フィールドを含むm/2フィールドと、前記第2フィールドからなるm/2フィールドとの極性を反転させて前記液晶表示素子を駆動する手段とを有し、

前記駆動手段は、前記オーバードライブ補正を行なう第1フィールドの極性を1フレーム毎に正極性と負極性に交互に変えながら前記液晶表示素子を駆動することを特徴とする液晶表示装置。

**【請求項 2】**

映像信号の1フレーム毎にオーバードライブ補正量を算出し、前記オーバードライブ補正量に基づき1フレーム毎にオーバードライブ補正を行ないながら液晶表示素子を駆動する液晶表示装置において、

前記映像信号の1フレームをmフィールド(mは2以上の偶数)に分割し、前記1フレームあたり、前記1フレーム内の最初に設けられた、前記映像信号と前記オーバードライブ補正量に基づく前記オーバードライブ補正を行なう第1フィールドと、前記第1フィールドの後に設けられた、前記映像信号に基づく第2フィールドとを有するmフィールドの信号を生成する手段と、

前記1フレーム内で前記mフィールドのうち前記第1フィールドを含むm/2フィールドと、前記第2フィールドからなるm/2フィールドとの極性を反転させて前記液晶表示素子を駆動する手段とを有し、

前記駆動手段は、前記オーバードライブ補正を行なう第1フィールドの極性を所定の複数フレーム毎に正極性と負極性に交互に変えながら前記液晶表示素子を駆動することを特徴とする液晶表示装置。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

本発明は、映像信号の1フレーム毎にオーバードライブ補正量を算出し、前記オーバードライブ補正量に基づき1フレーム毎にオーバードライブ補正を行ないながら液晶表示素子を駆動する液晶表示装置において、前記映像信号の1フレームをmフィールド(mは2以上の偶数)に分割し、前記1フレームあたり、前記1フレーム内の最初に設けられた、前記映像信号と前記オーバードライブ補正量に基づく前記オーバードライブ補正を行なう第1フィールドと、前記第1フィールドの後に設けられた、前記映像信号に基づく第2フィールドとを有するmフィールドの信号を生成する手段と、前記1フレーム内で前記mフィールドのうち前記第1フィールドを含むm/2フィールドと、前記第2フィールドからなるm/2フィールドとの極性を反転させて前記液晶表示素子を駆動する手段とを有し、前記駆動手段は、前記オーバードライブ補正を行なう第1フィールドの極性を1フレーム毎に正極性と負極性に交互に変えながら前記液晶表示素子を駆動することを特徴とする。

**【手続補正3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

また、本発明は、映像信号の1フレーム毎にオーバードライブ補正量を算出し、前記オーバードライブ補正量に基づき1フレーム毎にオーバードライブ補正を行ないながら液晶表示素子を駆動する液晶表示装置において、

前記映像信号の1フレームをmフィールド(mは2以上の偶数)に分割し、前記1フレームあたり、前記1フレーム内の最初に設けられた、前記映像信号と前記オーバードライブ補正量に基づく前記オーバードライブ補正を行なう第1フィールドと、前記第1フィールドの後に設けられた、前記映像信号に基づく第2フィールドとを有するmフィールドの信号を生成する手段と、

前記1フレーム内で前記mフィールドのうち前記第1フィールドを含むm/2フィールドと、前記第2フィールドからなるm/2フィールドとの極性を反転させて前記液晶表示素子を駆動する手段とを有し、

前記駆動手段は、前記オーバードライブ補正を行なう第1フィールドの極性を所定の複

数フレーム毎に正極性と負極性に交互に変えながら前記液晶表示素子を駆動することを特徴とする。